

管理運営状況等について【老人デイサービスセンター岩室】

(1) 指定管理者について

□ 良い点、評価できる点等

- ・指定管理者により質の高い施設運営がなされている。施設も清潔感があり、よく維持管理されている。
- ・施設長も業務に精通されていて、かつ施設の現状をきちんと把握されていた。お茶の間会に出席する、日曜利用者増加のためのイベント開催など、営業努力もされていて、好感が持てた。
- ・福祉の現場職員だけではなく、リハビリ関係の専門職として理学療法士を配置している。
- ・敷地内に病院等があり連携が取れること、運営団体のプライバシーマークの取得等運営方針がきちんとしていること。研修等も充実している。地域のお茶の間として活用されていることは評価できる。大きな苦情もなく、利用者アンケートの満足度も高い。

□ 悪い点、改善すべき点、課題等

	悪い点、改善すべき点、課題等	対応策(H29.3月時点)	対応状況(H30.2月フォローアップ調査)
1	アンケートの分析について、「やや満足」や「未回答」などの項目がある場合、それがなぜなのかを追求する必要がある。分析を深めることで、アンケートの効果が高まる。また、来所者本人と家族とは別にアンケートを行って、それぞれを分析すべきである。記述部分は分類すると全体の見通しが良くなる。 アンケートの結果は施設内に張り出すと良い。特に、苦情、意見は施設側の考えを示して掲示するようにすると良い。このような施設のアンケートではネガティブな意見は出にくい、意見や苦情を張り出すことによって、施設全体が自分たちにちゃんと向き合ってくれているんだという安心感を与えることができ、次のアンケートの実施がスムーズになると考える。	アンケート様式を、各項目毎にコメント欄を追加して、選択した理由を記入できるようにしました。今後は、ご利用者とご家族別にアンケートを実施するとともに、結果および回答を施設内に掲示したいと思います。	アンケート様式を、項目毎にコメント欄を追加して、選択した理由を記入できるように実施し、結果を施設に掲示するとともに、広報に掲載して各ご家庭および近隣事業所に配付しました。
2	地域の需要と供給のバランスが将来、どのような状況になるのかという見通しをもつことが大切である。地域によっては、供給が需要を上回ることもある。	今後について、新潟市の福祉計画等を参考に、近隣施設の利用状況を把握した上で、当施設の将来の需要を推測し、運営計画を作成していきたいと思います。	4月から、新潟市の総合事業が始まり、当施設も受入を開始した。全利用者の3割弱を受け入れてきました。予約時は、利用率も予定通りと思われたが、実績は予想以上にキャンセルが多く、計画を大きく下回っている。
3	チェア浴の入浴設備はあったが、今後、介護度の高い高齢者が利用することも考えられることから、本来の特殊浴槽の設置が求められる。ただ、費用がかかるので、所管課と協議されたい。	ハーバード浴槽の設置は、スペースおよび費用的に困難である。万が一、必要とする事案が発生した場合には、隣の施設等と連携して対応していきたいと思います。	利用希望者で、ハーバード浴槽の対象者はいなかった。

4	トイレ等の施設の不足は、利用者の健康に関わる重要な問題であるため、早急な対応が求められるため、所管課と協議する必要がある。	既存施設では、構造上、トイレの増設は難しい。利用者への対応方法については、あらためて所管課と協議して検討していきます。	トイレの増設は難しいため、今まで通り、時間差で利用していただいています。
5	赤字額が大きく、どこまで経営が継続可能か不安である。	意見参考送付のため回答不要	意見参考送付のため回答不要

(2)市(所管課)について

□良い点、評価できる点等

-

□悪い点、改善すべき点、課題等

	悪い点、改善すべき点、課題等	対応策(H29.3月時点)	対応状況(H30.2月フォローアップ調査)
1	現在、指定管理者からの補てんによって事業が継続しているが、このままの形態でよしとするのかどうかの検討が必要である。 周辺施設が閉鎖している現状を踏まえ、事業の存続のためにも払い下げ等を検討すべきである。	指定管理施設のあり方、考え方について、行政経営課、高齢者支援課と協議していきたいと思います。 払下げ等については、現在、高齢者支援課も含めて検討中です。	現在、当該施設を含めた公設デイサービスセンターの制度の見直しについて、高齢者支援課が中心となって検討を進めており、H30年度中を目途に、売却も含めた方向性について整理する見込みです。
2	評価が甘いように思われる。評価の妥当性など、もう少し厳しい目で見るとよい。	公の施設目標管理型評価の評価方法については、行政経営課と検討していきたいと思います。	評価方法については、行政経営課の指導(指定管理者制度運用の手引き)に基づき実施しておりますが、次年度に向け、再度、行政経営課に確認しながら実施いたします。
3	建物の老朽化が目立ってきたので、その対応を期待したい。修繕等に関しては、利用者の安全を考慮し、早急に手を打つ必要がある。	施設の大規模補修については、公共建築第一課の指導のもと、計画的に予算を確保していきたいと思います。	修繕については、協定書のリスク分担に基づき実施いたしますが、大規模修繕については指定管理者と協議するとともに、公共建築課の指導の下、予算を確保していく予定です。